

佐賀市立勸興小学校 中村敏智です。

60年の歴史ある佐賀県小中学校校長会会長の大役を仰せつかりました。私は、知性・理性・品性ともに、まだまだ未熟でございますが、野口敏雄前会長の意を引き継ぎ、本会の目的を達成し、本県教育のさらなる振興・発展に向け、任を果たして参りたいと意を固くしております。よろしくお願い致します。

今年より小学校では、移行措置の2年間が始まりました。各学校においても、新学習指導要領の改訂の趣旨を受け止めるとともに、全面実施を見据え、しっかりとしたビジョンをもった教育課程を編成し、本年度を迎えていることと思います。

今回の学習指導要領の改訂では、複雑で予測が困難な時代の中でも、一人一人が社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自ら可能性を発揮し、多様な他者との協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となることができるようにするために必要な力の育成が期待されています。

このような中、今、私たち校長には、学習指導要領実施に向けた準備、学力向上、いじめ問題や不登校問題への対応、さらに県内教職員大量退職期にあたっての教育力維持・向上、学校における働き方改革の推進等、山積する課題の解決に向けた取組が求められています。

また、本年8月には、全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会佐賀大会が開催されます。平成31年8月には、全九中佐賀大会が開催されます。

すでに、池之上実行委員長、榎原実行副委員長様を中心に準備委員会が立ち上がり、各部会等での協議が始まり、計画的に進んでおります。佐賀県小中学校校長会は一体となって、知恵と力を結集していく必要があります。

私は、このような状況に鑑み、平成30年度の佐賀県校長会の在り様、目指すべき姿を次のキャッチフレーズで示したいと考えています。

「教育課題に向き合い しなやかに たくましく 前進する校長会」

「教育課題」とは、学校における働き方改革、学習指導要領完全実施に向けての取組、人事評価制度の効果的な活用等が上げられます。

「しなやかに」とは、どのような状況においても、柔軟な見方、捉え方、考え方、場合によっては大胆な軌道修正をも決断する修正力を併せ持つと捉えます。

「たくましく」とは、教育信念の基、物事の本質を見極め、10年先を見通した判断力、そして行動力と捉えます。

佐賀県小中学校校長会は、教育課題に向き合い「しなやかさ」と「たくましさ」を併せ持ち、全校長先生方の力・支えとなり、力強く前進していきたいと考えます。

校長としての自信と誇りをもって、前向きな、覚悟をもった校長として頑張りましょう。

そして、使命と責任を自覚した存在感のある校長会として、力強い歩みを共に進めて参りましょう。1年間どうぞよろしくお願い致します。

平成30年 5月8日

佐賀県小中学校校長会 会長 中村敏智